

図2 平成27年度湯ノ湖植生図（北半分）（斜線箇所は混在を表す。）

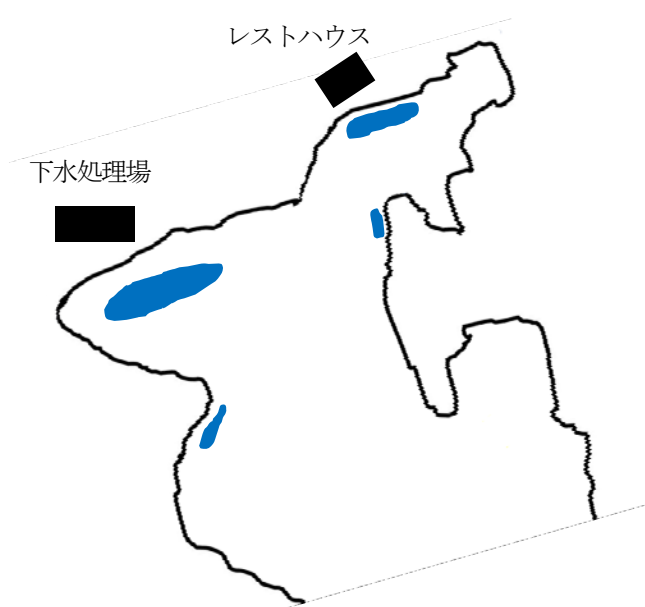


図3 コカナダモが11月時点までに刈取り可能な草丈となると予想される区域

5 まとめ

調査の結果、コカナダモ、ヒメフラスコモ、カタシヤジクモ、ホザキノフサモ、ヒメミズニラ、ヒンジモ、ツツイトモ、セキショウモの生育が確認された。（ただし、ヒメミズニラは植生図上に記載していない。）

コカナダモの機械刈取りが可能な区域は、下水処理場前の岸から5m以上離れた区域及びレストハウス前であった。ただし、一部の区域では在来種が混在しているため、その付近では刈取りを避けるべきと考えられた。

以上の調査結果に基づき、平成27年度の刈取りが11月2日～5日（機械刈取り）及び11日（人力刈取り）の計5日間実施され、合計16.4tのコカナダモが除去された。

6 謝辞

本調査に際して、御協力いただきました全国内水面漁業協同組合日光支所、日光湯元レストハウスの皆様に感謝いたします。

7 参考文献

- 1) 田村博他, 湯の湖におけるコカナダモに関する調査研究, 栃木県保健環境センター年報, 第8号, 2003